

# 在宅で生き抜く

～家族が看取るための支援～

坂井地区医師会

居宅介護支援事業所 管理者 飛田まゆみ

訪問看護ステーション管理者 森千恵美

# はじめに

住み慣れた家で最期まで過ごし、家で死にたいという気持ちは多くの方が共通して持っている思いである。

多くの方が自宅での最期を望むのは、自宅が生活の場だからである。喜怒哀楽の場で人は笑顔になり、その笑顔を見た家族も笑顔になる。住み慣れたリラックスできる場所にいる安心感がある。

私たちは、その思いを尊重し、医療・看護・介護が連携してケアの心を届けることにより、住みなれた家で最期まで過ごせるようにしたいと感じている。

在宅での看取りに介入し、それを実現させるには、患者・家族の強い意思と、医師・看護師・ケアマネジャーの連携の必要性を感じたので紹介する。

# 事例紹介

A氏 61歳 女性

病名：卵巣がんターミナル がん性腹膜炎合併 小脳転移

家族構成：夫⇒キーパーソン

娘（長女・次女）⇒二人とも県外在住

在宅までの経過

平成18年 卵巣がん診断 両付属器・大網部分切除術  
化学療法（福井赤十字病院）

平成19年 卵巣がん再発 子宮・大網切除 化学療法

平成21年4月 右尿管ストマ挿入、ストマ造設

4月23日 退院前カフ挿入

4月30日 退院

# A氏の経過

	訪問		介護保険は、福井赤十字病院入院中に申請し、「要介護1」を取得している
5月	7回	確認と説明 パウチ交換・ 不安軽減のかかわり	ストマケアは理解できているが積極的に携わる事はなく全面的にサポートが必要で、夫が対応する事もある 前頭部痛と手先のしびれがあるがオキノームは使用していない
6月	9回		介護保険利用について相談あり 左前頭部痛あり、オキ
7月	6回		ケアマネージャー介入し、ポータブルトイレ購入、 手すりをレンタルできるように手続きをする る。
8月	7回		左前頭部痛強まる 上肢の力が入りにくくなる
9月	15回		遠方の娘さんが、在宅での看取りを決心、 介護に参加する での体動できず、寝たきりとな
10月	48回	吸引・消毒浄化 褥瘡加療	発熱や痰の量が強く、状態は日々悪化していく。 経口できない状態のため デュロテップパッチ、アナバン坐薬に変更 さらにアンパック坐薬に変更
11月	2回		身体障害者手帳の再申請を行う。 1種1級

## 看護師・かかりつけ医・ケアマネージャーとの連携の実際1

- ・ 8/28 訪問看護師(以後訪看)からの連絡で、ケアマネージャー(以後CM)介入する
- ・ 8/31 本人・ご主人とCM面談し、介護保険の取得状況と病気の受け止めを確認する
- ・ 日赤病院からかかりつけ医を汐見医院へ
- ・ 9/2 現在身障者4級であり、身体状態より3級以上にならないかCM・かかりつけ医と話し合いを実施する
- ・ 9/5 訪看一人対応では入浴介助困難な状態であるため二人対応に変更する
- ・ 9/7 訪看・CMで、状態悪化して食事摂取できなくなっているが本人は入院を拒否していること、ご主人が点滴を希望していることを含めて、かかりつけ医に報告し、今後の対応を検討する。また、日中独居困難な状況であるため、ご主人不在時の対応について家族に話し合いを依頼する。レスパイト入院については、本人より拒否される。

## 看護師・かかりつけ医・ケアマネージャーとの連携の実際2

- ・ 9/24 本人の入院したくないという思いを尊重し、在宅での看 取りを決定する。訪看介入毎日とする。エアマット導入する
- ・ 9/29 傾眠傾向みられ、状態悪化しているため、本人、家族の思いが変わらなければ自宅で看取ることをかかりつけ医と確認し、いざという時のために日赤Hpに入院受け入れを打診する。
- ・ 10/12 2回/日（朝・夕）訪看導入となる
- ・ 10/31 意識レベルさらに低下してきているため、緊急時の連絡方法について説明する。
- ・ 11/2 家族より死亡連絡

# 在宅での看取りのために大切なこと

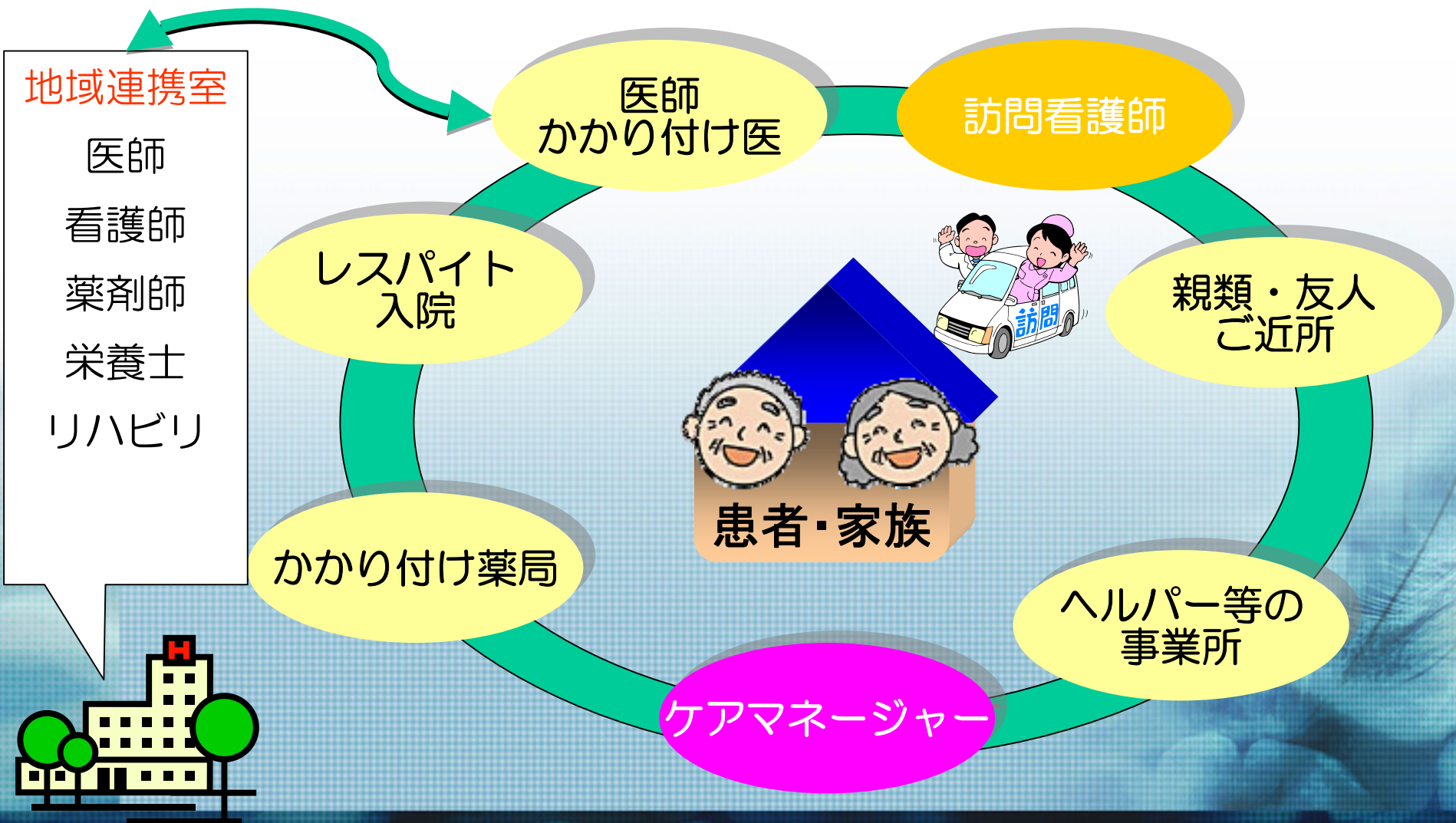
- ・ 本人の思いと、家族の思いが同じでなければできないことであり、方向性が異なっていたら、同じ思いに向けるように寄り添いながら、話し合っていく
- ・ 本人の病気・死への不安、恐怖をゆっくりと聞き共感して一人ではないこと、一緒に“痛み” “困難なこと” “不安” を相談していく
- ・ 患者・家族の介護や緊急時の不安を把握し迅速な対応を行う。サービスプランを調整する。
- ・ 患者・家族が、短くても穏やかな時間を共有できるように努める。

# 在宅での看取りのために必要なこと

- ・ 24時間、医師と看護師が対応でき、24時間連携できるシステムの構築
- ・ かかわるすべてのスタッフのチーム作り  
状況に応じて、栄養士・薬剤師との連携  
かかわる事業所の迅速な対応、協力体制



# 在宅での看取りに必要な支援



# おわりに

Aさんの旅立ちは

大好きなコブクロの音楽の中で…

愛犬がそばにいて…

娘さんにネイルアートをしてもらい…

孫が無邪気に遊ぶ様子を見ながら…

静かに旅立った…

日常生活の中で自然な旅立ちであった。